5　労働金庫電子決済等代行業再委託者数

者

（記載上の注意）

当期末において、労働金庫電子決済等代行業者として第82条の４第２項各号の委託を受けている同項の労働金庫電子決済等代行業再委託者（以下「労働金庫電子決済等代行業再委託者」という。）があるときは、そのうち自身が直接取引を行う者の合計者数を記載すること。

6　使用人の状況

	使　用　人
総　　数	名

（記載上の注意）

1　本表は、当期末における労働金庫電子決済等代行業に従事する使用人について記載すること。

2　「使用人」欄は、臨時雇員及び嘱託を除く員数を記載すること。

7　事務所の状況

名　　称	所　在　地

（記載上の注意）

1　本表は、当期末における労働金庫電子決済等代行業を営む事務所について記載すること。

2　適宜、地区別に区分して記載すること。

8　労働金庫電子決済等代行業の実施状況

（単位：件、者）

決済指図伝達		口座情報の取得・提供
契約件数又は利用者数	決済指図伝達の件数〔為替取引に至らなかつた件数を含むか否か〕	契約件数又は利用者数
	〔　〕	

（記載上の注意）

1　「決済指図伝達」欄のうち、「契約件数又は利用者数」欄については、当期末における預金者（法第89条の５第２項第１号の預金者をいう。以下同じ。）若しくは労働金庫電子決済等代行業再委託者（労働金庫電子決済等代行業再委託者のうち自身が直接取引を行う者のみをいい、当該労働金庫電子決済等代行業再委託者に委託（二以上の段階にわたる委託を含む。）を行う労働金庫電子決済等代行業再委託者や労働金庫電子決済等代行業再委託者の利用者である預金者は含まないことに留意する。以下同じ。）との間の決済指図伝達に係る基本契約（継続中の契約に限る。ただし、個別契約のみが締結される場合には個別契約。以下同じ。）の件数又は自身が提供する決済指図伝達に係るサービスを直接利用する預金者若しくは労働金庫電子決済等代行業再委託者の数を記載すること。

2　「決済指図伝達」欄のうち、「決済指図伝達の件数」欄については、当期中における決済指図伝達を行つた件数を記載すること。この際、適宜自身が把握可能な件数をもつて代替することも可能であり、例えば、決済指図伝達が法第89条の５第２項第１号の指図の内容のみの伝達である場合に、労働金庫電子決済等代行業者又は労働金庫電子決済等代行業再委託者が当該内容のみの伝達を行うための画像を、預金者が確認することができる映像面に表示させた件数や、最終的に為替取引に至つた件数等を記載することでも差し支えない。ただし、この場合には、どのような件数を記載したかを留意事項として記載すること。

また、件数の次の〔　〕内には、当該件数に為替取引に至らなかつた件数を含むか否か（含む場合は「含」、含まない場合は「否」）を記載すること。

3　「口座情報の取得・提供」欄のうち、「契約件数又は利用者数」欄については、当期末における預金者若しくは積金者（法第89条の５第２項第２号の預金者又は積金者をいう。以下同じ。）若しくは労働金庫電子決済等代行業再委託者との間の口座情報の取得・提供に係る基本契約の件数又は自身が提供する口座情報の取得・提供に係るサービスを直接利用する預金者若しくは積金者若しくは労働金庫電子決済等代行業再委託者の数を記載すること。

別紙様式第17号（第152条の２の16第１項関係）

（日本工業規格Ａ４）

労働金庫電子決済等代行業に関する報告書

（　年　月　日から
　年　月　日まで）

年　月　日

主たる営業所又は事務所の所在地

商号又は名称

代表者氏名　　印

（記載上の注意）

1　この様式中に記載する事項は、同一の事項を記載した書類を添付し、かつ、その旨を明記した場合には、記載を省略することができる。

2　記載事項に関して留意事項がある場合には、適宜の方法により、いずれの記載事項についての留意事項であるかを明示した上で記載すること。

1　登録年月日及び登録番号

2　労働金庫電子決済等代行業の概況

（記載上の注意）

直近の事業年度における労働金庫電子決済等代行業の経過及び成果を記載すること。

3　契約締結に係る金庫又は労働金庫連合会

(1)　金庫との契約

契約締結金庫名	契約年月日	労働金庫電子決済等代行業の業務の内容

（記載上の注意）

1　本表は、金庫との間で労働金庫法（以下「法」という。）第89条の６第１項の契約を締結している場合に記載すること。

2　「契約締結金庫名」欄は、当期末における契約締結金庫（１の契約を締結している金庫をいう。３において同じ。）の名称を記載すること。